

## レポートの書き方

### 基礎操作

- タイトル**
  - タイトルを最初に書く。
  - 観察・実験の内容を示す。
- 実施した人や実施日の情報**
  - 観察者の名前と共同観察者の名前または班(グループ)の番号を書く。
  - 観察日時と天気、気温を書く。
- 目的**
  - 何を明らかにしたいか、そのためにどのような観察実験を行うかを具体的に書く。
- 準備した物**
  - 使用した材料や観察器具などを全て書く。
- 方法**
  - どのような材料や観察器具を用いて、どのような手順で実施したかを具体的に書く。
  - 説いた人が同じ観察・実験をくり返せるように書く。
  - 過去形で書く。
- 結果**
  - 観察・実験の結果を正確に書く。
  - 自分の考えや感想は入れずに、観察・実験からわかる事実だけを書く。
  - 文章だけでなく、スケッチや図、表を使ってわかりやすくまとめる。
  - 結果が複数あるときは、番号書きに分けて書くとかかりやすい。
- 考察**
  - 結果から考えたことを書く。
  - 観察・実験の目的や予想、観察・実験の結果

観察・実験のレポートには、実施した観察・実験の目的、準備した物、方法、結果、考察を、わかりやすく順序にまとめる。観察・実験のレポートを作成することで、観察・実験から得られる事実と自分の考えが明確になり、新たな疑問や課題を見いだすことができる。

●実や種子をつくる花のつくりと変化

1年0組0番 〇組 〇〇〇

●共同観察者 〇番 〇〇〇〇、〇番 〇〇〇〇、〇番 〇〇〇〇  
観察を行った日 〇年〇月〇日 〇時〇分 天気 くもり 気温21℃

- 目的** 実や種子をつくるいろいろな植物の花のつくりと変化を観察し、どの花にも共通するつくりや花によって異なるつくりを調べ、花のどの部分が実や種子に変化するかを考える。
- 準備した物** フラワー、ガラスノンドウの花、ツツジの花、ルビー、セリハンテープ、工作用紙、ピンセット、カッターナイフ、カッターマット
- 方法**
  - 花の形を観察し、めしべ、おしべ、花弁、がくのつき方をスケッチした。
  - 花の外側にあるものから順に、1つずつピンセットでとり外して花を分解し、セリハンテープで工作用紙にはりつけた。
  - めしべの下部のふくらんだ部分を縦や横に切り、断面をルーペで観察した。
  - めしべを数回実験観察機で観察した。
  - でき終わった花を観察した。
- 結果** 調べた結果を下にまとめた。

●考察 フラ、ガラスノンドウ、ツツジの花には、めしべ、おしべ、おしべがある。また、その形も異なるから、めしべ、おしべ、おしべと違っている。

●結果 フラ、ガラスノンドウ、ツツジの花のつくりと変化を観察した。おしべの内部には、小さなふくらんだ部分があった。

●考察 おしべのふくらんだ部分は、めしべの内部から出てくる花粉が溜まるところで、花粉が溜まると、おしべの先端に花粉が入っている。花粉が柱頭につくことを受粉という。

受粉が起こると、子房の中にある胚珠が種子になる。また、子房は成長して果実になる。このようにして、種子と果実がつくれる。地面に落ちた種子は、その後、発芽して、次の世代の植物になる。種子をつくる植物を種子植物という。

★1 これまで「実」とよんでいたものが実は「果実」になる。















